

子どもの事故防止合同研修会

「子どもの事故防止と
いざという時の応急手当」



徳島市消防局 山本 哲秀

本日のお話しする内容について

- 応急手当の必要性
- 子どもの救急事故の特徴
- 子どもの救急事故の事例
- 応急手当の実技
- 119番通報について



応急手当の必要性



応急手当の目的とは

「救命」

「悪化防止」

「苦痛の軽減」



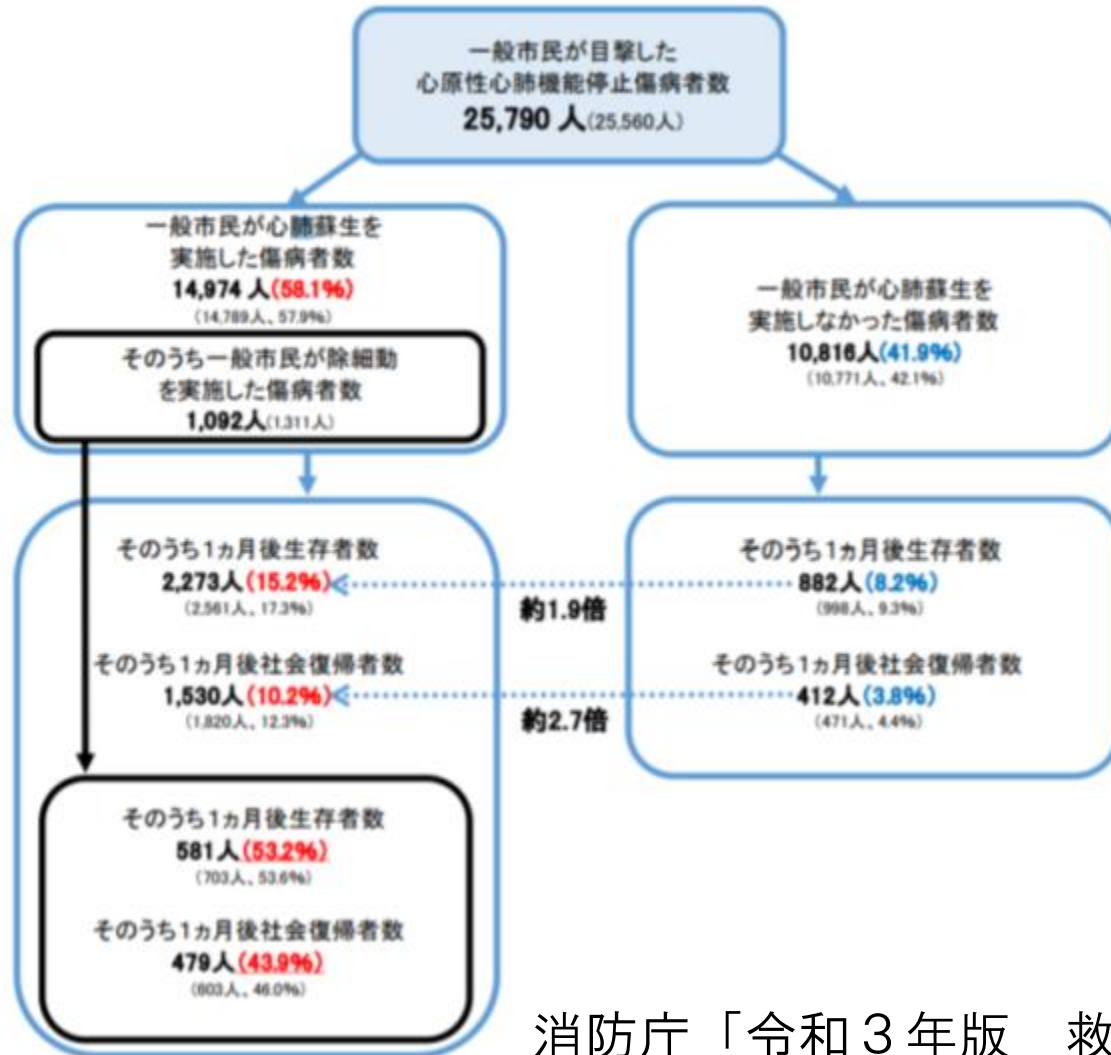
応急手当の現実
その1



応急手当の
実施率と生存率



応急手当の実施率と生存率の関係



応急手当の実施率と生存率の関係

一般市民が目撃した
心原性心肺機能停止傷病者数
25,790人(25,560人)

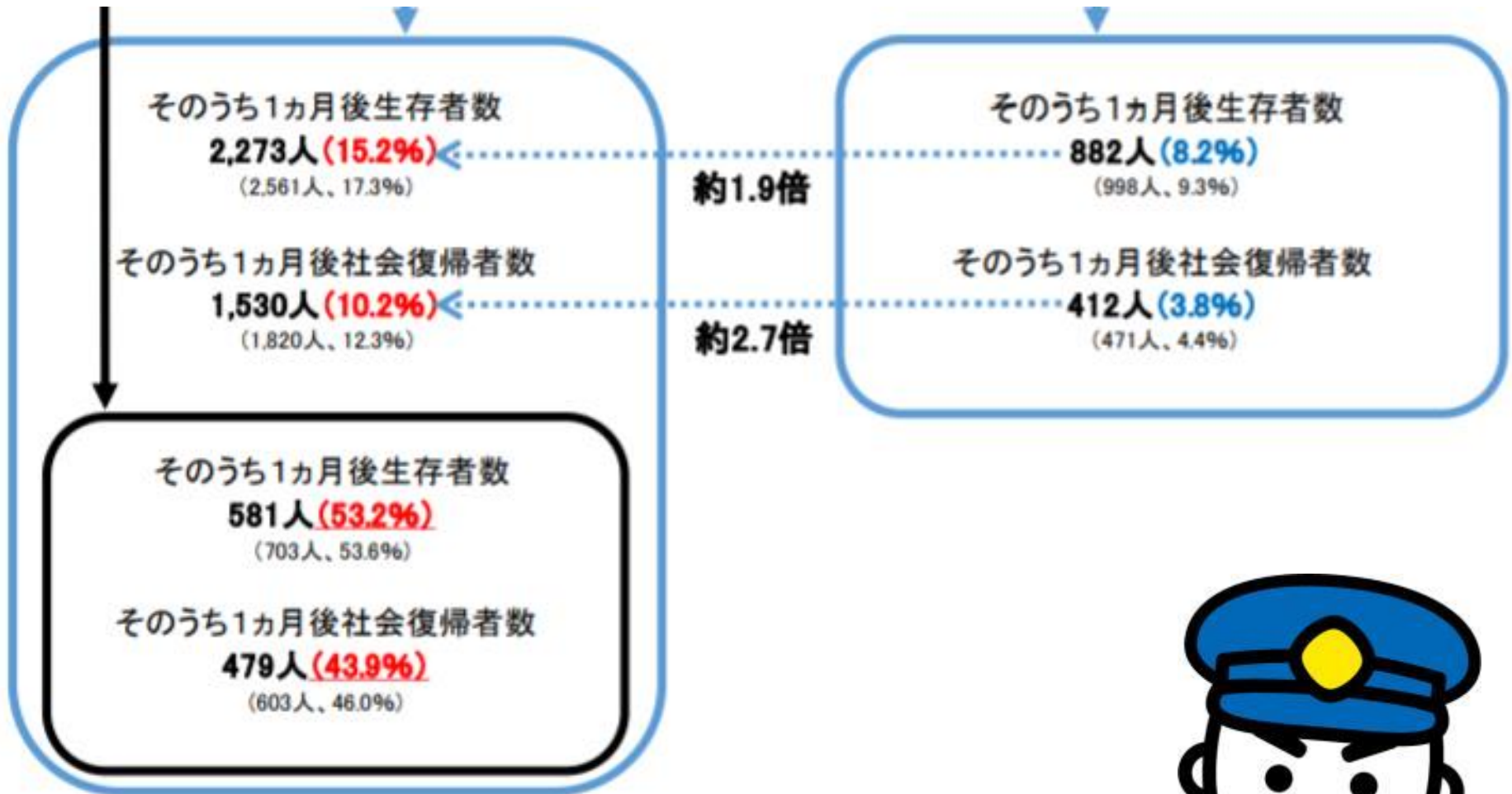
一般市民が心肺蘇生を
実施した傷病者数
14,974人(58.1%)
(14,789人、57.9%)

そのうち一般市民が除細動
を実施した傷病者数
1,092人(1,311人)

一般市民が心肺蘇生を
実施しなかった傷病者数
10,816人(41.9%)
(10,771人、42.1%)



応急手当の実施率と生存率の関係



如何に実施率を上げるか！

不安

○×
\$◇!

怖い



知らない・・・

判断で
きない

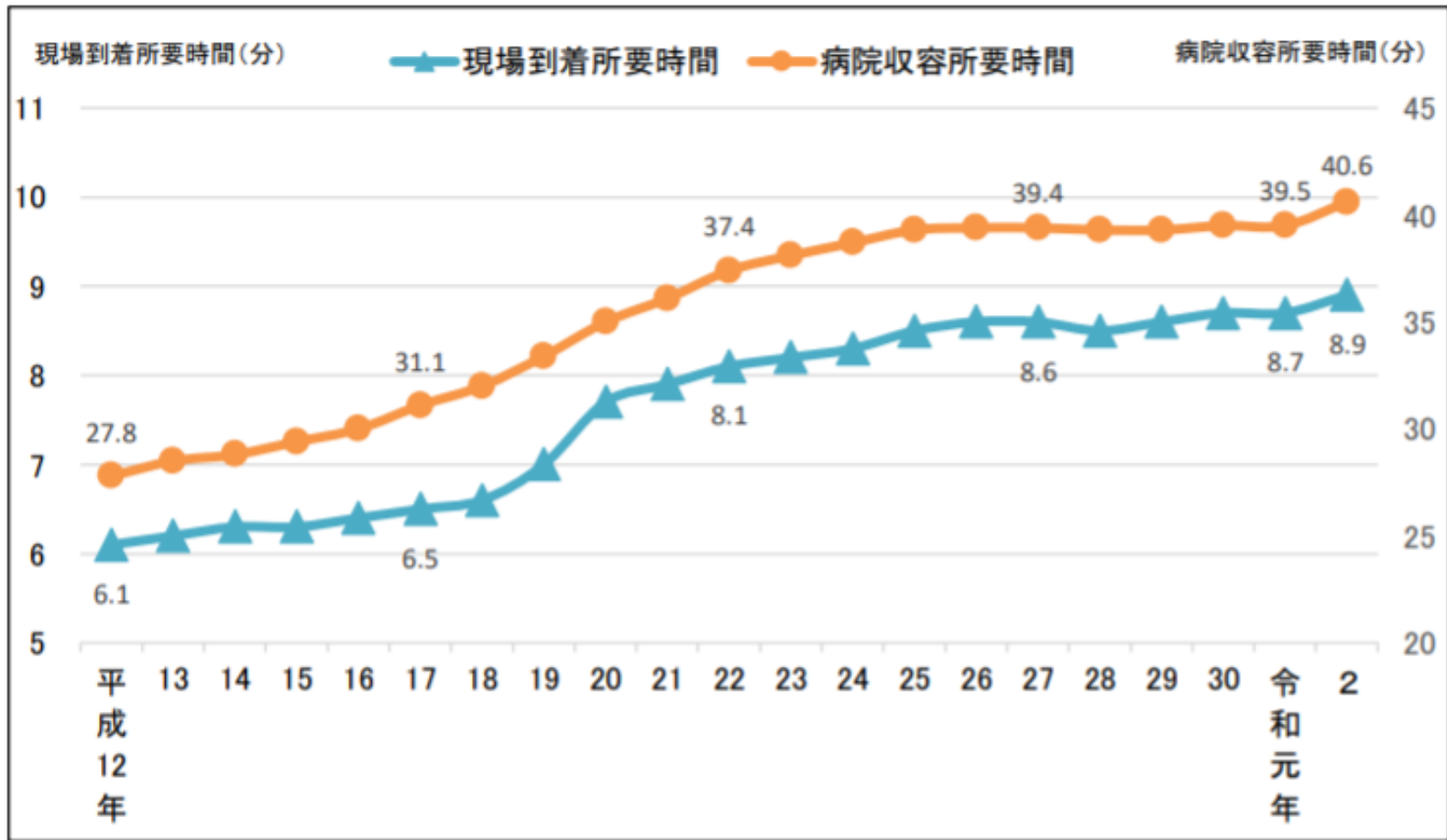
応急手当の現実
その2



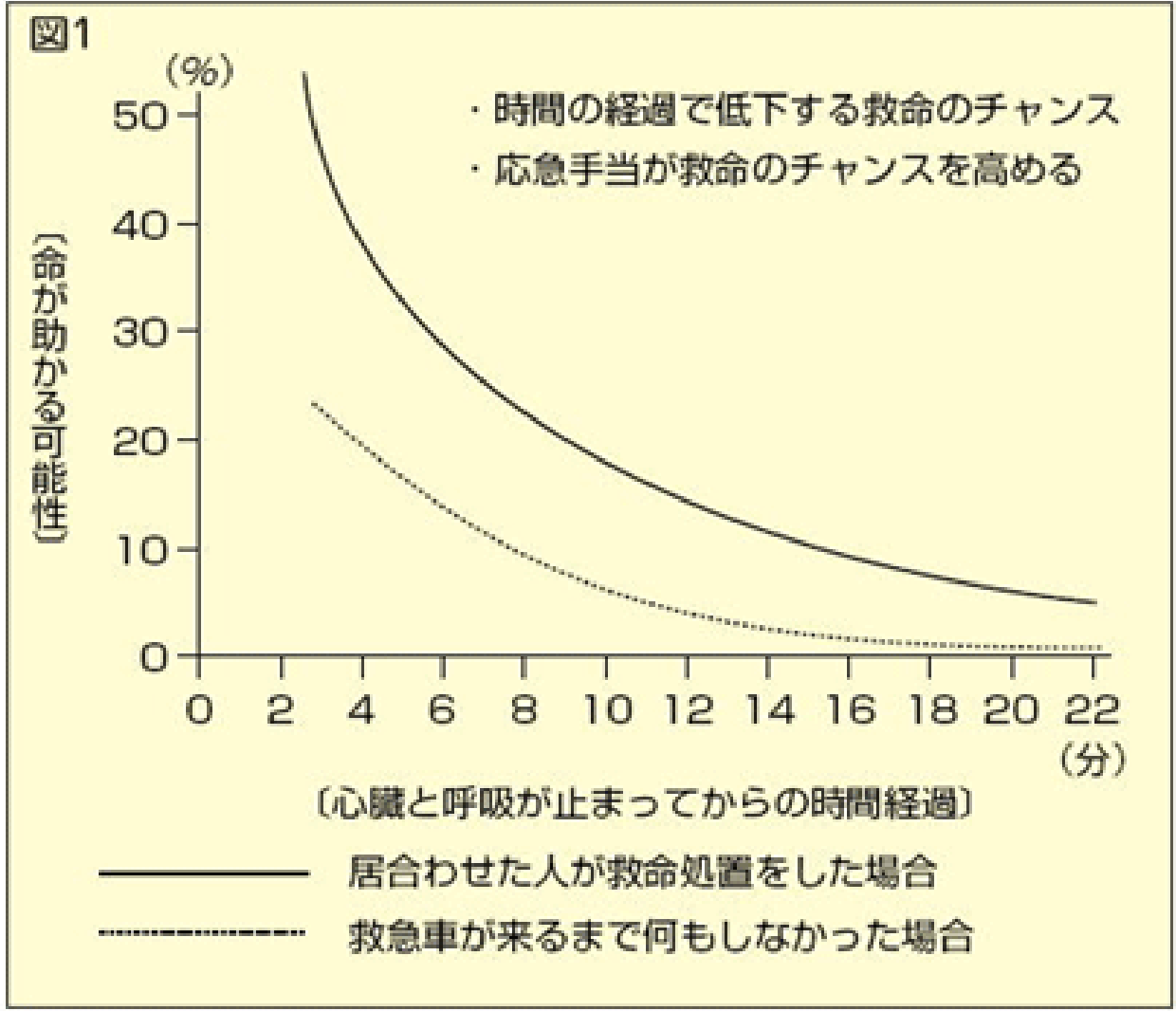
救急車、意外と
時間がかかります



救急車の現場到着・病院収容所要時間の推移



※東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値により集計している。



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

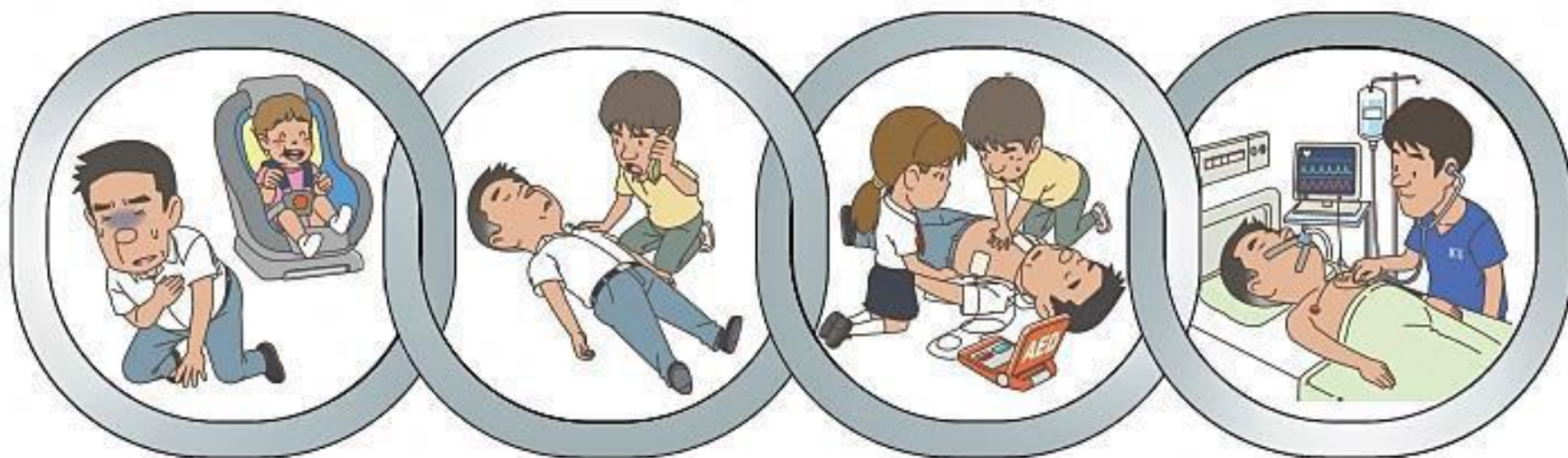


応急手当は1秒
でも早く！

さあ、誰がする？



救命の連鎖

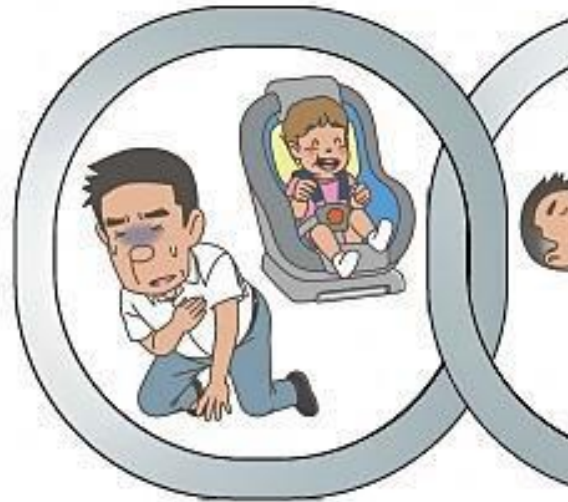


心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置
(心肺蘇生と AED)

二次救命処置と
心拍再開後の集中治療

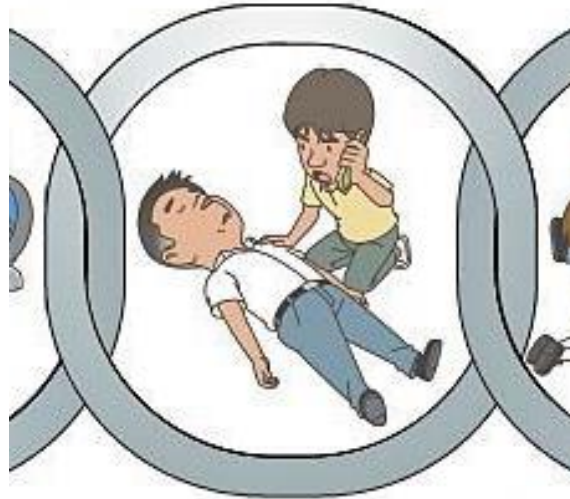


心停止の予防

早

病気やケガをしないよう注意する！



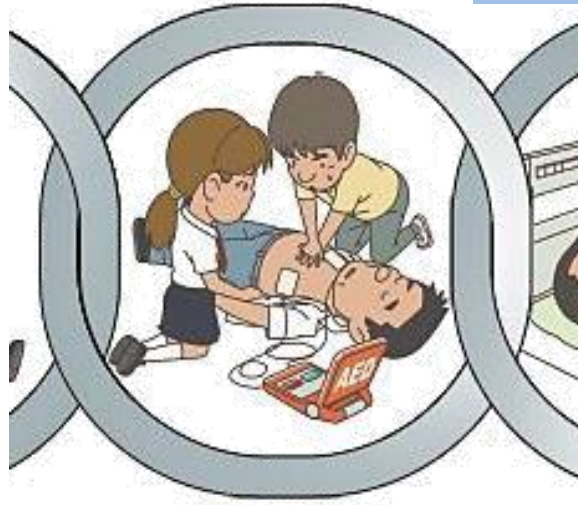


早期認識と通報

(a)

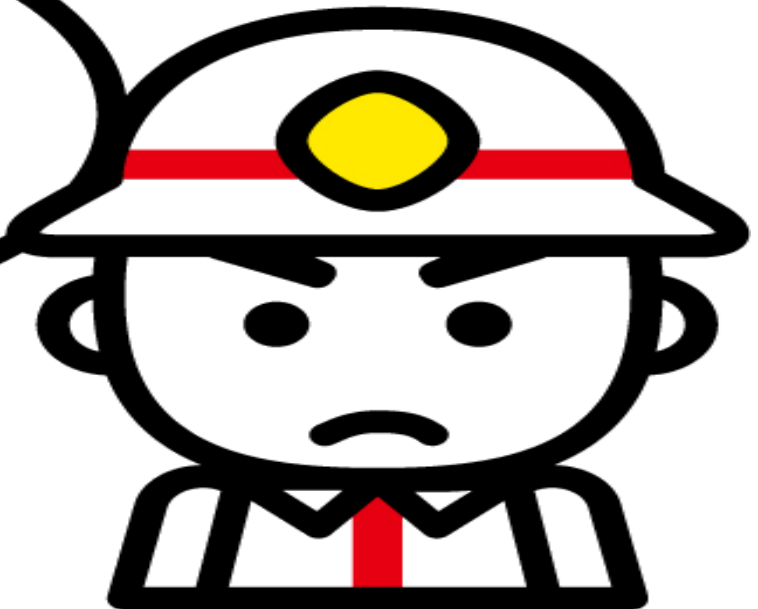
救急車が必要であれば、すぐに
119番を！





① 一次救命処置 (心肺蘇生と AED) ② 心拍

救急隊が来るま
で応急手当を続
ける！





心停止の予防



早期認識と通報



一次救命処置
(心肺蘇生と AED)



二次救命処置と
心拍再開後の集中治療



鎖のように
連なって！

本日のお話しする内容について

- 応急手当の必要性
- **子どもの救急事故の特徴**
- 子どもの救急事故の事例
- 応急手当の実技
- 119番通報について



子どもの事故
について



子どもの行動は . . .

- 物事に夢中になり他のものが見えない
- 気分によって行動が変わる
- 状況に応じた判断ができにくい
- あいまいな言葉はあまり理解できない



子どもにおける
「救急事故」



0～1歳児に起こりやすい救急事故

- ・まくらや布団による窒息
- ・寝返りによる窒息
- ・誤嚥（お菓子・豆・おもちゃ・コイン）
- ・歩行中やつかまり立ちでの転倒



2～3歳児に起こりやすい救急事故

- ・ 友達とふざけて転倒
- ・ 遊具や階段での転落
- ・ 水遊び中の溺水
- ・ 鼻や耳などの異物
- ・ アレルゲン食材
- ・ 誤嚥（お菓子や豆など）



4～5歳児に起こりやすい救急事故

- ・ 走り回って転倒
- ・ 友達との衝突やケンカによる負傷
- ・ 遊具や階段からの転落
- ・ 水遊び中の溺水
- ・ アレルゲン食材



子どもを
事故から
守る!

事故防止 ハンドブック



消費者ホットライン188
イメージキャラクター
イヤヤン

このハンドブックは、0歳から6歳（小学校に入学前の未就学児）の子どもに、予期せず起こりやすい事故とその予防法、もしもの時の対処法のポイントをまとめたものです。

子どもの周囲の大人たちが、安全な製品の選択、正しい利用により、子どもの身の回りの環境を整備して、対策を立てることで、防げる事故があります。明るく楽しい子育てと、毎日の生活のために、子どもを事故から守る正しい知識を身に付ける一助となれば幸いです。

子どもの発達と起こりやすい事故

4ページ以降は、各事故について、事故が発生しやすい年齢を右記のマークで記載しています。

0歳~3歳くらい



子どもは運動機能の発達とともに、いろいろなことができるようになります。その一方で、様々な事故に遭うおそれが出てきます。起こりやすい主な事故が、発生しやすい時期の目安を矢印で記載しました。

4ページ以降に起こりやすい事故の注意ポイントを紹介していますので、ご覧いただき事故の予防につなげていきましょう。

発達の目安	誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳		
発達の目安		首がすわる 足をバタバタさせる		離乳食を始める	寝返りをうつ	一人座り	ハイハイをする		つかまり立ち		一人歩き 走る	階段を登り降りする その場でジャンプ 高い所へ登れる						
窒息・誤飲事故	<就寝時の窒息事故> ・うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる ・授乳時、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイなどで窒息 ・授乳時、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイなどで窒息		・ベッドと壁の隙間などに挟まれる ・家族の身体の一部で圧迫される ・ミルクの吐き戻しによる窒息		・食事中に食べ物で窒息 ・おもちゃなどの小さなもので窒息 ・ボタン電池、取水ボール、磁石などの誤飲 ・医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲 ・たばこ、お酒などの誤飲 ・包装フィルム・シールなどの誤飲 ・ブラインドやカーテンのひもなどによる窒息		4ページ										5ページ	
	水まわりの事故	・入浴時に濡れる				・浴槽へ転落し濡れる ・洗濯機、バケツや洗面槽などによる事故		6ページ				・ビニールプールやプールなどでの事故 ・海や川での事故・ため池、用水路、排水溝、浄化槽での事故		6ページ		6ページ		
主な起こりやすい事故	やけど				・お茶、みそ汁、カップ麺などでのやけど ・暖房器具や加湿器でのやけど		・電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど ・調理器具やアイロンでのやけど		7ページ		7ページ		・ライター、花火によるやけど		7ページ			
	転落・転倒事故				・大人用ベッドやソファからの転落 ・ベビーベッドやおむつ替えの台からの転落 ・抱っこひも使用時の転落 ・ベビーカーからの転落		・椅子やテーブルからの転落 ・階段からの転落、段差での転倒		8ページ 9ページ 9ページ 8ページ 8ページ				・ベランダなどからの転落 ・窓や出窓からの転落 ・ショッピングカートからの転落		8ページ 9ページ		・遊具(すべり台、ジャンプジム、ブランコなど)からの転落 ・ペダルなし二輪遊具、キックスクーター等での転倒	
車・自転車関連の事故	車・自転車関連の事故				・チャイルドシート未使用による事故 ・車内での熱中症		・車のドアやパワーウィンドウに挟まれる事故 ・子ども乗せ自転車での転倒 ・自転車に乗せた子どもの足が後輪に巻き込まれる、スポーク外傷		10ページ 10ページ 10ページ		10ページ		・道路などでの事故		10ページ 11ページ			
	挟む・切る・その他の事故				・エスカレーター、エレベーターでの事故		・テーブルなどの 家員で打撲		12ページ 12ページ				・キッチン付近で包丁、ナイフでのけが ・ドアや窓で手や指を挟む ・ダンスなどの家員を倒して下敷きになる ・ドラム式洗濯機での事故 ・歯磨き中に歯ブラシでの衝突などの事故 ・機械式立体駐車場での挟まれ事故		12ページ 12ページ 12ページ 12ページ 13ページ 13ページ			

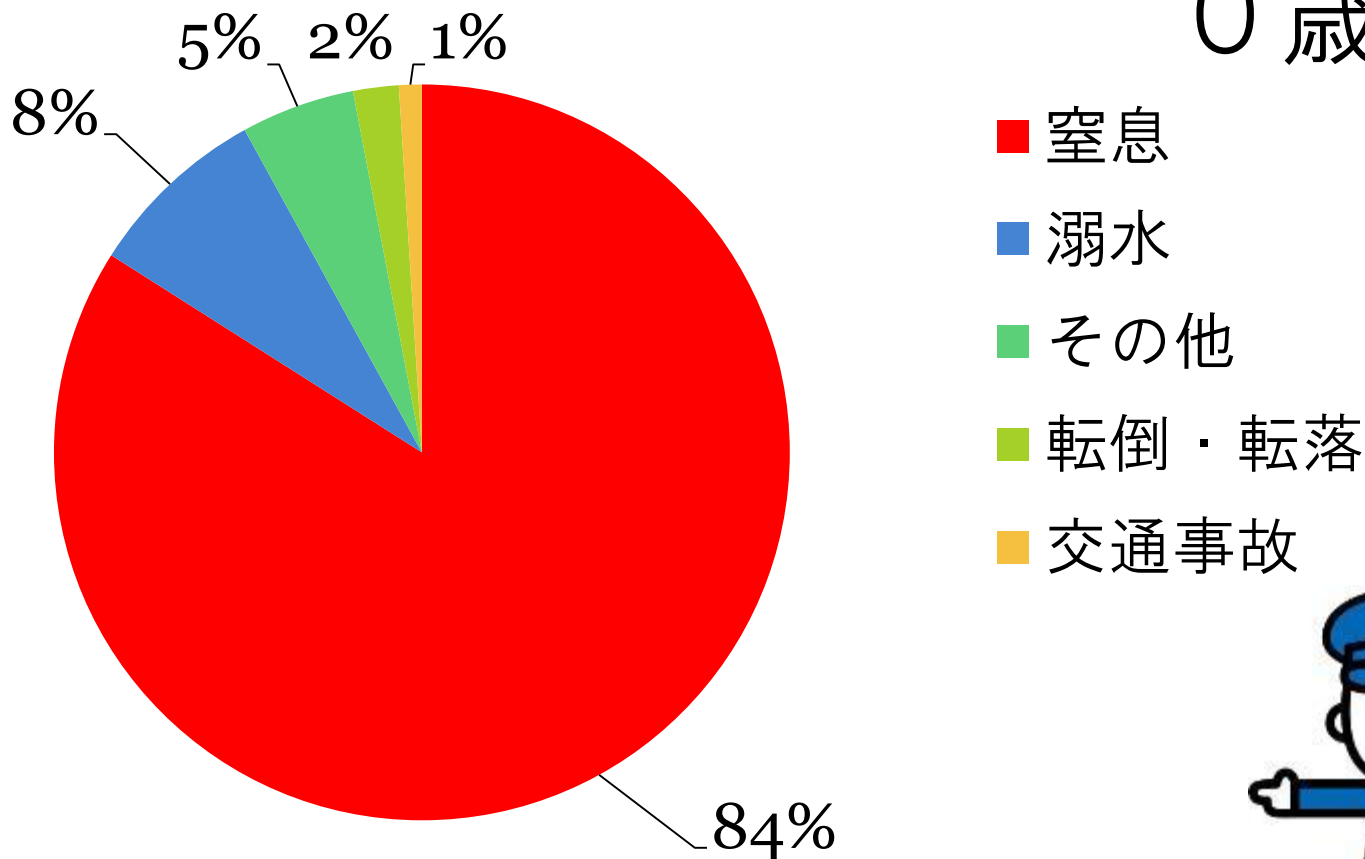
産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター、日本インダストリアルデザイナー協会、キッズデザイン協議会 企画・監修「子どものからだ国産」ワークスコーポレーションを参考に消費者庁で作成

子どもにおける
「不慮の事故死」



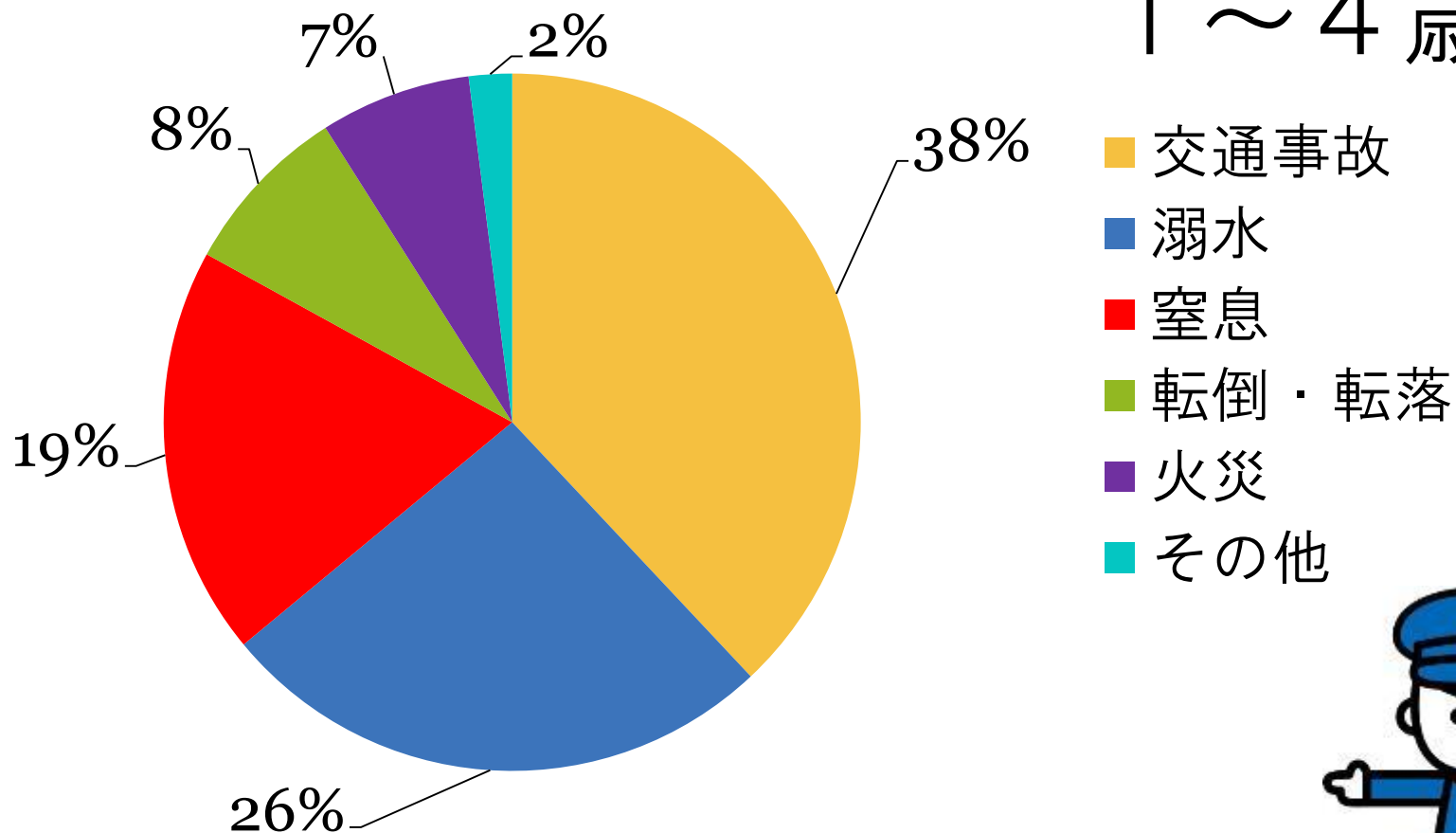
年代別における不慮の事故死

0歳



年代別における不慮の事故死

1～4歳



本日のお話しする内容について

- 応急手当の必要性
- 子どもの救急事故の特徴
- **子どもの救急事故の事例**
- 応急手当の実技
- 119番通報について



保育施設での
事故事例



お昼寝中の事故



生後6カ月の男児がミルクを飲んだ後に昼寝をはじめ、30分後にうつぶせ状態で心肺停止になっているのを発見された。原因としては、吐いたミルクの誤飲による窒息の可能性

プールでの事故



4歳の女兒がプールにて溺れ死亡した。
事故発生時、プール最終日であったため、監視にあたっていた職員2人がプールの滑り台を片づけ中であり、事故の発生に気づけなかった

園内行事での事故



節分の豆まき行事中に4歳の男児が豆まき中に突然、苦しみだした

豆まきに使用していた大豆を食べようとして誤って気道に詰まったことが原因による窒息により死亡した

家庭での
事故事例

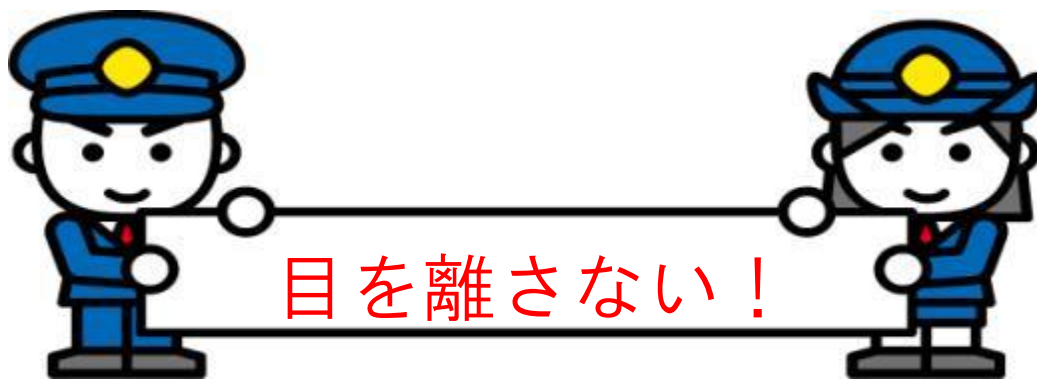


溺水

親が子どもと入浴中、洗髪のため少し目を離していたところ浴槽内で溺れた。



親が子ども2人と入浴中、1人の子どもを洗い場から脱衣場へ連れて行くことしたところで、もう1人の子どもが浴槽内で溺れていた。



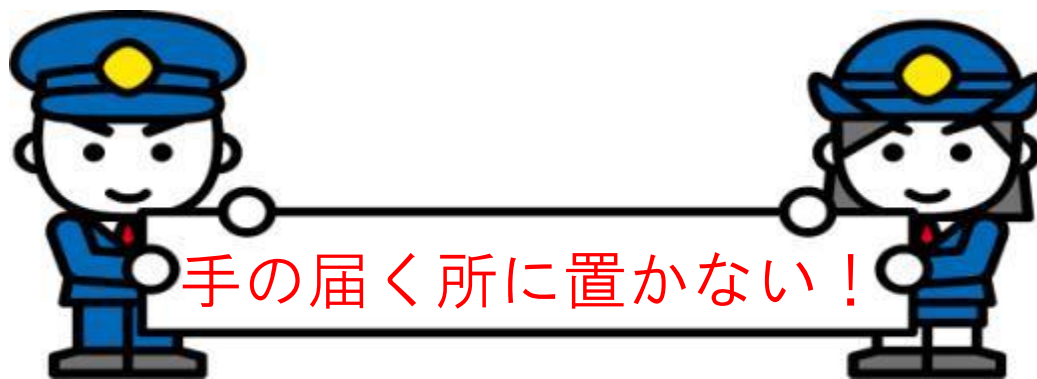
目を離さない！

やけど



10カ月の子どもが、炊飯器から出る炊きあがりの蒸気を触りやけどした。

2歳の子どものが、食卓に配膳を終えた状態で、テーブルクロスを引っ張り、テーブル上の味噌汁が入ったお椀が倒れやけどした。

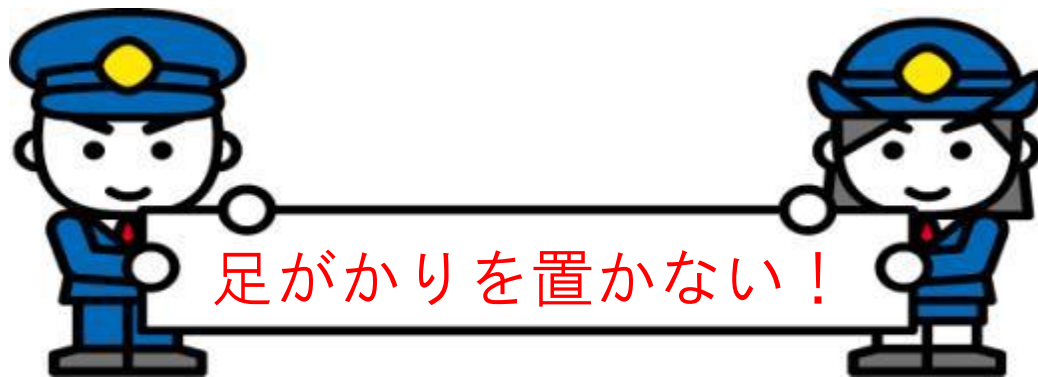


転落



4歳の子どもが、2階のベランダで遊んでいたところ、エアコンの室外機に上り誤ってベランダの外に転落し負傷した。

3歳の子どもが窓際に置かれていたソファによじ登り、窓から網戸を突き破って3m下の地面に落下して負傷した。



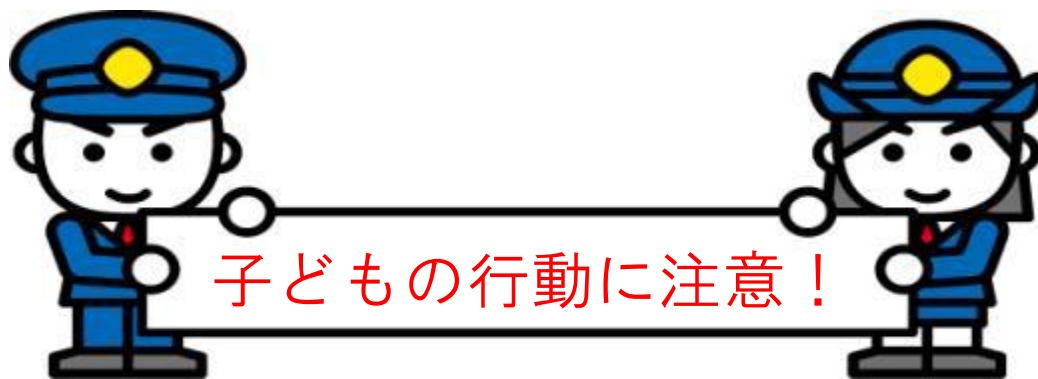
足がかりを置かない!

窒息



1歳の子どもが、ミニトマトを丸ごと口に入れ、喉に詰まらせてしまった。

2歳の子どもが、木製のままごとセットに入っていた苺のおもちゃを口にくわえた状態で母親に見せにきたため、母親が強く叱ったところムキになり口に含み窒息した。



窒息



4カ月の男児が発熱、家族が額に熱さまし用のジェル状の冷却シートを貼り付け看護中、夕食の後片付けのためしばらくそばを離れていたところ、冷却シートが男児の口と鼻をふさぎ、窒息状態になっていた。

救急事故は
予防が肝心！



本日のお話しする内容について

- 応急手当の必要性
- 子どもの救急事故の特徴
- 子どもの救急事故の事例
- **応急手当の実技**
- 119番通報について



応急手当の実技



本日のお話しする内容について

- 応急手当の必要性
- 子どもの救急事故の特徴
- 子どもの救急事故の事例
- 応急手当の実技
- 119番通報について



消防 119 番です。
火事ですか？救急ですか？



口頭指導について



救急要請受信時に、消防機関が救急現場付近にある者に、電話等により応急手当の協力を要請し、**口頭**で応急手当の**指導**を行うこと。

119番から救急車が着くまで



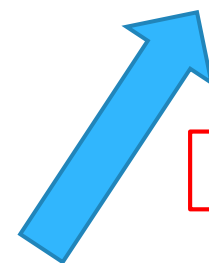
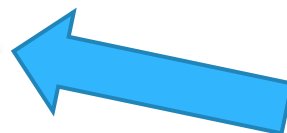
救急車をお願いします！



119



出動！！



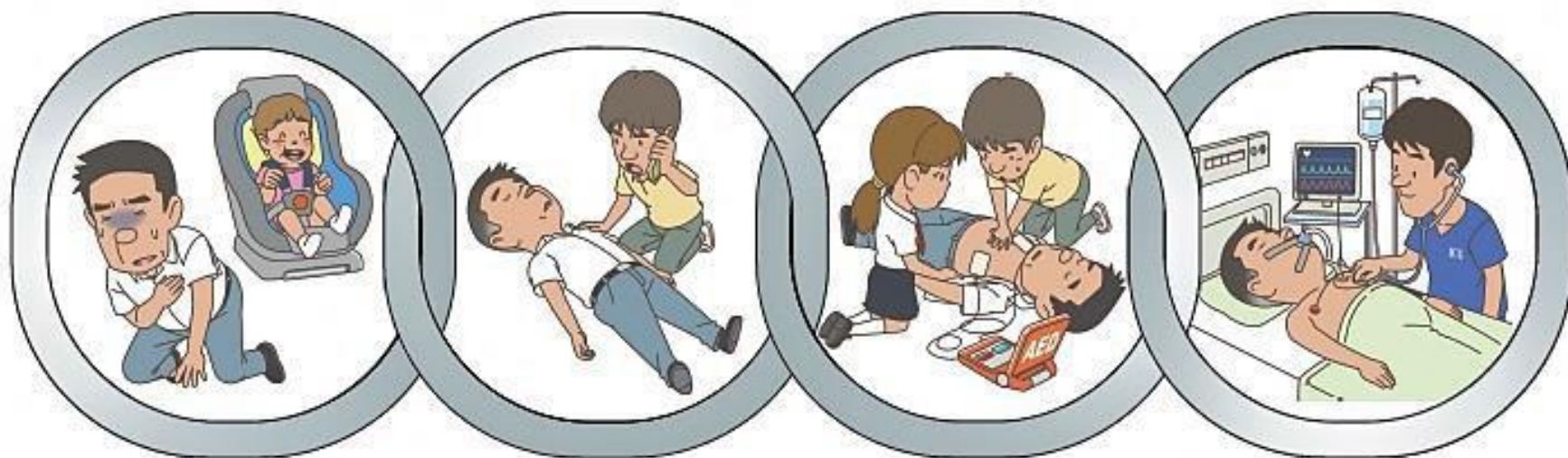
119番の時に教えてほしいこと



- ・ 救急車が向かう場所
- ・ なにがあったか？
ケガ？病気？・・・
- ・ 意識はある？
- ・ 持病、掛かり付け



救命の連鎖



心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置
(心肺蘇生と AED)

二次救命処置と
心拍再開後の集中治療

子どもの事故防止合同研修会

「子どもの事故防止と
いざという時の応急手当」



徳島市消防局 山本 哲秀